

2学期終業式式辞

今日は2学期の終業式です。2学期は約4ヶ月有りましたが、みなさんにとてどんな2学期でしたか。

私は、2学期を振り返ると、文化発表会での各学年・学級の心が一つになった合唱の歌声が今も耳に残り、体育大会のブロック演技での生徒の皆さん的一生懸命な表情と演技をやり切った時の達成感や充実感いっぱいの笑顔が目に焼き付いています。

そして、長い学期の中で、1年は「職業セミナー」、2年は「職場体験学習」、3年は「進路選択に向けて」、それぞれの学年で一人一人が自分を見つめ直し、卒業後の進路や将来の夢、就きたい職業やなりたい自分について考えることができたのではないかと思っています。

また、昨日まで私と教頭先生で、受験に向けた3年生の面接試験の練習を担当しましたが、ひとりひとりが自分を見つめて卒業後の進路に向き合っている姿を見て応援したい気持ちでいっぱいになりました。

学習の面では、この後、担任の先生からみなさん一人一人に2学期の通知表を渡してもらいます。学校生活の中心は毎日の授業の積み重ねです。各教科の先生がつけてくださった観点ごとのA～Cの評価や5段階の評定を見て、一人一人が2学期の学習を振り返り、自分が頑張ったことや十分でなかつたことを考え、それを家の人にも伝えてください。

課題点については冬休み中に具体的な克服方法を考え、冬休みの家庭学習や3学期の学校生活で実行してください。

さあ、明日からは冬休みです。そしてあと1週間と少しで新しい年が始まります。1年間をしっかりと振り返り、新しい年を迎える節目の時期としてください。

私が先日参加した研修会で、今から 170 年くらい前の江戸時代の終わりに松下村塾という塾で多くの若者を育てた吉田松陰さんの言葉にふれる機会がありました。

吉田松陰さんは、若者に成功のためにはまず「夢」が必要だと説きました。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」、わかりやすく言うと、「夢があるから理想が生まれ、理想があるから計画が立てられる。計画があるから実行でき、実行するからこそ成功がある。だから、夢がない人に成功はないのだ」という言葉です。

中学生の時期は、先生のような 50 代後半と違い、自分の可能性が無限に広がっている時期です。まだ将来の夢がはっきりしていなくても構いません。「こんな自分になりたい」「3学期はこれを頑張りたい」という小さな目標でもいいので、この冬休み、自分の中にある「夢の種」を探してみてください。その夢が、新しい年の皆さん行動を変える力になると思います。

それでは、生徒のみなさん、寒い日が続きます。力ゼをひきやすい時期なので、規則正しい生活をして生活リズムを崩さないようにしてください。また、手洗いうがい、マスクを着用するなど健康管理をしっかりとし、充実した冬休みにしてください。

そして、3年生は、目標に向かってしっかりと学習や面接、作文等の準備に励んでください。

1月7日の3学期の始業式に元気な笑顔、スマイルで会えることを願っています。以上で校長先生からの話を終わります。

みなさん、よいお年をお迎えください。

令和7年12月23日 校長 細矢 和彦